

東洋大学校友会埼玉県東部支部《リーフレット版》

第3号

作成/2020年10月1日 東洋大学校友会埼玉県東部支部 広報部

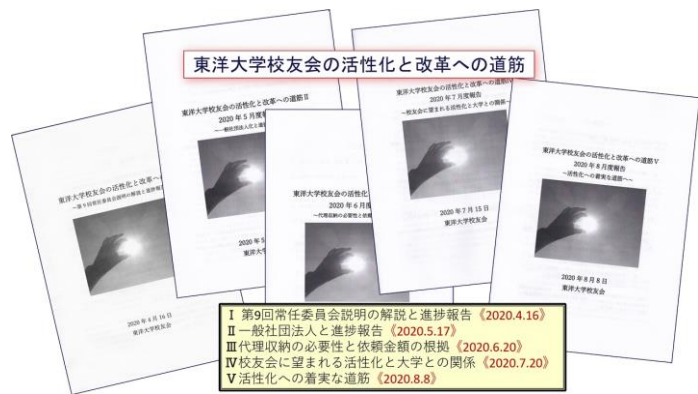
この「彩の国さいたま」(リーフレット電子版)は、校友会埼玉県東部支部の最新の活動状況、企画案内、会員の動向などの情報を、支部会員の皆様に年数回、不定期でお届けするものです。速報内容は、支部の役員および会員の皆様から頂戴した情報を写真とともにまとめています。なお、リーフレット版は、画像電子版として作成していますので、支部のHPに登録会員の皆様にご覧いただけます。また、必要に応じて、東洋大学校友会HPの支部ブログにも掲載しますので、奮ってお読み頂きたいと存じます。

支部広報担当(副支部長) 黒井 登起雄

書面議決による  
校友会支部長会が開催！

校友会の令和2(2020)年度の支部長会(5月16日(土)開催予定)は、新型コロナウイルスの感染の拡大と、政府による緊急事態宣言の発出に伴い、支部長が出席する方法ではなく、『書面による議決権行使』(行使期限5月22日(金))の形で行われました。

- 審議議案は、以下の通りでした。
- 第1号議案 2019年度会務報告
  - 第2号議案 2019年度決算報告
  - 監事監査報告・公認会計士監査報告
  - 第3号議案 2020年度事業計画(案)
  - 第4号議案 2020年度予算案
  - 第5号議案 (㈱学校コミュニケーションネットワークとの契約締結について)
  - 第6号議案 校友会の活性化について
  - 第7号議案 常任委員の選出
  - 第8号議案 選挙管理委員の選出
- 但し、第6号議案は、秋の臨時支部長会

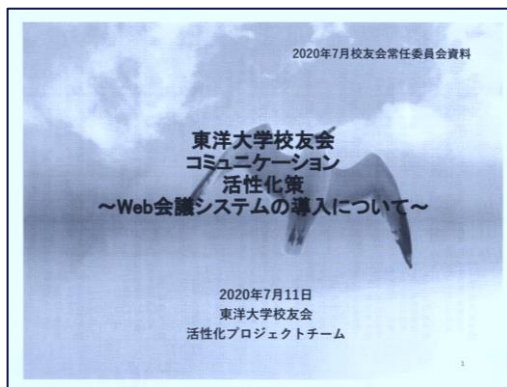


東洋大学校友会の活性化と改革の報告書5部(資料I~V)

を開催して審議(関係資料『活性化と改革への道筋』配布により(図参照)、情報発信)。すべての議案は、過半数の賛成(書面権行使者数64名)をもって可決されました。なお、『校友会の活性化と改革』に関して書面による代議員に対する意見・質問・要望と回答の繰返しは、7回ほど行われました。

《引用 校友会ジャーナル第267、第268》

秋の臨時支部長会(令和2年9月5日(土)開催)も、新型コロナウイルスの感染の拡大が収まらないことから、定例支部長会に引き続いて『書面による議決権行使』(行使期限9月5日(土))の方法



東洋大学校友会の活性化策 (2020.8.8)

1. オンライン会議導入について

兼てより校友会改革の柱として「IT活用の促進」を承認頂いております。今月HPよりリニューアルし、「メールアドレスの収集キャンペーン」を開始しITを使い「メールマガジン」の発信にも着手致します。この件は別途キャンペーン概要にて皆様のご協力をお願い致します。

一方、4月より各支部への報告を重ねて参りましたが、支部より以前に比して情報開示が進んできているとの多数の声に加え、今後オンラインでのミーティングに対する肯定的な意見も寄せられ始めました。このような支部のご意見だけでなく、卒業生を代表する組織としての改革を目指す我が校友会でも、全世界の校友と意見交換効率が向上する「オンライン会議」の導入を推進したいと思っております。

導入の背景

- 1 活性化
- 2 環境
- 3 コスト対効果

スマホでも簡単に参加可能。  
「Zoom」を使って  
6分でわかる

https://www.youtube.com/watch?v=F41TJ003R

オンライン会議システムの導入 (2020.8.8)

で行われました。

審議議案は、以下の通りでした。

第1号議案 一般社団法人化について

《①定款(案)②運営規約(案)③正会員および会費規程(案)④代議員選出規程(案)⑤会長・副会長ならびに監事選任規程(案)⑥理事選任規程(案)》

導入のメリット・デメリット

「オンライン会議」のメリット・デメリットについて整理しておきます。

(1) 導入のメリット

①活性化  
時間的制約も少なく(移動時間、開催場所の準備)多くの人間が参加可能な「オンライン会議」の最も大きな特徴です。現在、当会でも限られた常任委員で業務執行を進めていますが、「オンライン会議」であれば遠方の校友も参加可能となり、多くの意見が反映されコミュニケーションが活性化されます。

②環境  
定例開催しました通り、インターネットの利用率は既に60歳代でも74%を超え、迅速かつ安価に情報入手やコミュニケーションを行うのが当たり前になっています。

③コスト対効果  
全盛期経営、継続的個人消費、交通費がリアルな会議では必ず発生しますが、オンライン会議では主催者側にスキルと最低限の投資があれば、極めて低コストでコミュニケーションが可能となります。

(2) 導入のデメリット  
遠距離視覚とは異なり、感じ方は人様々です。

①導入訓練の必要性  
導入に際して、主催者側、参加者側に一定の訓練が必要ですが、オンライン会議は「オンライン会議」であれば、結論から言うと「習うより慣れろ」の機会を設けることにより解決すると思えます。

②参加者のインターネット環境  
今のオンライン会議はスマートフォンでも参加できます。よって参加者の方々にご理解頂くように努めることが重要と考えます。

オンライン会議システムの導入のメリット・デメリット (2020.8.8)

第2号議案 常任委員の選出

報告事項《①大学交渉の進捗②情報化システム推進による活性化(図参照)③その他》

なお、議案および報告事項の代議員に対する意見・質問・要望の受付も8月17日(月)まで行われました。また、報告事項②の『情報化システム推進』は、前報(リーフレット電子版第2号)でお知らせしましたように(支部IT推進委員向けのオンライン会議の事前体験会の実施など)、既に、推進に向けた取り組みが行われています。多くの支部会員の皆様の参加もお願いいたします。第1号および第2号が過半数の賛成を以って可決され、校友会は、10月1日(木)より一般社団法人化して再びスタート致しました。(編集・文責・黒井登起雄)

支部校友会の活動状況の情報を左記のメールアドレスにお寄せ下さい。(広報担当 黒井登起雄) [saita\\_casf@yahoo.co.jp](mailto:saita_casf@yahoo.co.jp)

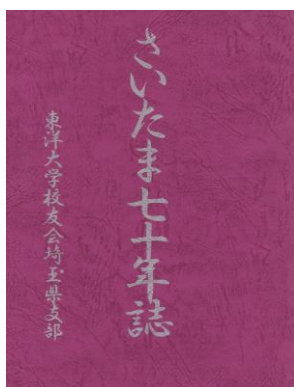
## 支部活動機能をIT機器で支える！

支部広報担当 黒井登起雄  
(昭和46年院修土木)

最近では、IT (情報技術) 機器が目覚ましく進歩し、PCに限らず、タブレット (Phone、iPad) や、スマートフォン (android) が幅広く活用されています。

また、新しい活用ソフトやアプリも非常に多くなっています。今年の新型コロナウイルスの感染の拡大に伴う企業等の職場におけるテレワーク、オンライン面接・オンライン会議、大学におけるオンライン授業などの活用は、現在のIT機器活用の現状を物語っています。思い出せば、私も、校友会埼玉県支部70周年記念(平成11(1999)年)における「さいたま70年誌」に『二十一世紀の支部活動』と題して寄稿しています。その内容は、『支部は、30歳代あるいは40歳代以下の若い年代層の会員を多く抱えているので、その年代への情報の提供と、相互の情報交換を二十一世紀に向かって組織

的に取り組む必要がある』『若い年齢層の会員には、PCなどによって情報提供し、これらを通じて得られた情報は、50歳代、60歳代になったときに、二十一世紀の支部活動にスムーズな意思疎通へと繋がる』などを記しています。当時の私は、50歳代前半の年齢であり、まだ、タブレット、スマホはなく、ガラケーの携帯電話の時代だと思います。その後、埼玉県支部は、平成16(2004)年に東西両支部への二分割が承認され、埼玉県東部支部が創立されました。IT機器の令和2(2020)年までの進化は、前述のように目覚ましいものですが、校友会および埼玉県東部支部におけるIT機器による組織的な情報の共有は、なかなか進まず、現在に至っています。なお、国内のPC、タブレット、スマホなどの一般的な保有・活用数統計は、60歳以下で、95%以上、



埼玉県支部70周年記念誌



2019年度『支部女性の集い』(行田市散策), 昼食会にて、筆者(右から2人目)



支部ブログなどの情報通信のイメージ

70歳代でも、50%弱であり、支部会員の保有・活用数も同様と考えられます。支部会報「彩の国さいたま」の原稿は、第6号(2010年発行)からIT機器によるE-Mail、または、自筆・印刷物のFAXか、手紙による募集でした(11年が経過し、現在会報16号)。60歳以下の会員の皆様は、IT機器による情報通信が

多くなりましたが、支部会員全体に広がりが認められません(従って、支部会員の拡充も十分に進んでいません)。

今後の支部活動における情報通信と拡散には、IT機器の活用が非常に重要であり、組織的に拡大させる必要があります。校友会本部の『校友会の活性化と改革』における校友会HPのリニューアル(ブログの維持管理の変更、セキュリティ強化など)、『情報化システム推進』を機に、埼玉県東部支部においても、事務局を中心とした組織的な連携を強化し、IT機器による情報通信を拡大させませんか(右図参照)! 最初に、『支部Facebook』の開設と、『支部Facebookグループ』の組織化、さらに、役員会のWeb化(事務局の会議日程調整、Mailing Listなどのアプリ導入・活用や、IT機器

(E-Mailなど)審議の導入など)、支部

ブログの拡充(『彩の国さいたま』リーフレット電子版の活用による会員への拡散)などです。私も、支部広報部担当として11年を重ね、70歳半ばの年齢になりました。提案した『IT機器による情報通信』に対しては、個々にご協力いただき(できると思います?)が、支部「彩の国さいたま」のリーフレット電子版(不定期)と会報(毎年印刷版)の編集・校正・配信作業に集中したいと思います(数年間は頑張れると思います)。早急な校友会埼玉県東部支部の若手校友グループの組織化が進められることを切望します。(埼玉県東部支部副支部長)

**埼玉東部支部「女性校友の集い」中止!**

16号(10月17日)の「女性校友の集い」が中止となりました。この度は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が深刻化し、今後の開催が困難であると判断されたためです。誠に申し訳ございませんが、ご理解とご容赦をお願いいたします。

次年度は、新型コロナウイルス感染症の終息が確認できることを待たせていただきます。

校友会HP(支部ブログ8/19)参照

**埼玉東部支部主催 ゴルフ大会開催中止!**

10月20日(土)に開催予定の埼玉東部支部主催の親睦チャリティゴルフ大会(第11回)は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が深刻化し、今後の開催が困難であると判断されたためです。誠に申し訳ございませんが、ご理解とご容赦をお願いいたします。

来年度は、新型コロナウイルス感染症の終息が確認できることを待たせていただきます。

校友会HP(支部ブログ8/26)参照